

第23回千葉市長旗争奪ミニサッカー大会開催要項

- 1 趣 旨 市内の幼児、小学生並びにその保護者等からなるサッカーチームを公募し、試合を通して交流を図ることにより参加者相互の親睦を深め、健全な心身の育成に努める。
- 2 大会名 第23回千葉市長旗争奪ミニサッカー大会
- 3 主催 公益財団法人 千葉市スポーツ振興財団
- 4 共催 千葉市、千葉市教育委員会、千葉市体育協会
- 5 主管 千葉市サッカー協会
- 6 後援 ジェフユナイテッド株式会社、株式会社千葉日報社、株式会社JCN千葉
- 7 協賛 民間各社
- 8 日時 平成26年2月7日(金) 前日準備(関係者のみ)
平成26年2月8日(土)
 - 5年生・6年生・ママさん・パパさんの部を実施
 - 日 程 ・開 会 式 9:15～
 - ・競 技 10:00～16:15(予定)
 - ・表 彰 式 16:30～(予定)
 - (※パパさんの部については時間未定)平成26年2月9日(日)
 - 1年生・2年生・3年生・4年生・幼児の部を実施
 - 日 程 ・競 技 9:15～16:15(予定)
 - ・表彰・閉会式 16:30～(予定)
- 9 場 所 千葉ポートアリーナ
- 10 参加資格 ○原則として、市内在住の選手によって構成されているチーム
○フェアプレーやマナーを指導しているチーム
○千葉市サッカー協会に未登録でも参加可。
○各クラブで、傷害保険に加入していること。
○原則として、1クラブ各クラス1チームの参加とする。
 - ・ただし、幼児(来年就学予定の子ども)については、各クラブ2チームまで参加可とする。(申込用紙の「2チーム」欄に○をつけること。)
 - ・日程の都合上、参加可能チーム数が決められているので、申込多数の場合は、事務局で調整する。○役員協力をお願いできるチーム
※下記の2日間のうち1日(会場整理・記録係等)
 - 2月8日(土)7:30～17:30前後
 - 2月9日(日)8:00～17:30前後

○両日とも審判の帯同は不要であるが、引率体制がしっかりしていること。

○原則としてピブスを持参すること。

(1) 幼児(来年就学予定の子ども)

①保護者同伴であること。

②各チームの責任者を登録すること。

(2) 小学生(1～6年生、各学年1チーム)

①保護者の承諾を得ていること。

②引率者が、各学年とも2名以上いること。

(3) ママさん

①原則として、子どもが上記(1)または(2)のクラスに参加していること。ただし、過去の大会に子どもが参加した場合は参加を認める。

②または35歳以上の女性

(4) パパさん

①原則として、子どもが上記(1)または(2)のクラスに参加していること。ただし、過去の大会に子どもが参加した場合は参加を認める。

②または35歳以上の男性

③時間の関係上、最大12チームとする。応募多数の場合は抽選とする。

- 11 競技方法 (1) 2月8日(土)
- 5年生・6年生・ママさん・パパさんの部を実施
 - 1試合原則8分(12分単位)5コートで実施
- (2) 2月9日(日)
- 1年生・2年生・3年生・4年生・幼児の部を実施
 - 1試合原則8分(12分単位)8コートで実施
- (3) ルール
- 別紙「千葉市長旗争奪ミニサッカー大会競技規則」のとおり

- 12 表彰 (1) 総合優勝(クラブ優勝)
- 小学生(各学年別)の部、ママさんの部を対象(幼児の部・パパさんの部は対象外)
 - 予選リーグ → 勝ち3点、引き分け1点
 - 決勝トーナメント → 勝ち3点
 - 以上の総合得点によって、クラブ優勝を決める。
 - 優勝クラブに総合優勝旗を授与(持ち回り)
- (2) 小学生(各学年別)の部、ママさんの部表彰
- 優勝～3位にトロフィー、副賞を授与
- (3) 幼児の部表彰
- 優勝のチームに優勝旗授与(持ち回り)
 - 優勝～3位にトロフィー、副賞を授与
- (4) パパさんの部表彰
- 優勝～3位にトロフィー、賞状を授与

(1)大会参加費 1チーム 2,000円(事前説明会の時に納入)

(2)参加申込

- ①広報媒体 ちば市政だより11月1日号
財団ホームページより募集案内
市内小学校への案内文
千葉市サッカー協会に登録済みの4種(小学生)・6種(幼児)
チームへの郵送による案内 他
- ②申込期間 平成25年11月1日(金)～11月22日(金)必着
- ③申 込 先

〒261-0012 千葉市美浜区磯辺5-5-7-104 千葉市サッカー協会副理事長 池田 晃司
--
- ④申込方法 別紙「参加申込用紙(財団ホームページよりダウンロード可能)」に必要事項を記入し、返信用封筒(宛名を記入し、切手を貼付したもの)を同封のうえ、申し込むこと。
- ⑤参加決定 日程の都合上、参加可能チーム数が決められているので、申込多数の場合は、事務局で抽選とする。
返信用封筒で、参加決定確認書等を12月6日(金)までに返送する。

(3)説明会

- ①日 時 平成25年12月23日(月)午後1時30分受付
午後2時00分開始
- ②場 所 千葉中央コミュニティセンター 8階「会議室」
- ③内 容 ・大会の運営について
・役員の協力について
・諸注意について
- ④持 ち 物 参加確認書、参加費
- ⑤そ の 他 ・会場の都合上、各クラブ1名の参加とする。
・組み合わせ抽選は、事前に事務局で行う。

(4)大会に関する問い合わせ先

千葉市サッカー協会副理事長 池田 晃司 携帯番号 090-1127-7048

(5)大会参加にあたってのお願い

- ①申込手続きは、正確にお願いします。
- ②他の大会の予定等を確認し、申込後の取り消しがないようにお願いします。
- ③大会運営にあたっては、全面的な協力をお願いします。
- ④主催者による写真撮影を行い、広報として情報誌・ホームページ等へ掲載する場合があります。また報道機関や主催者の許可した業者が撮影を行い、テレビ放映や新聞・雑誌・インターネット等に掲載される場合もあります。なお、主催者の許可した業者が写真を販売する場合がありますので予めご了承ください。

参加申込用紙の提出により、上記事項に関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。

参加申込用紙

クラブ名	(正式なクラブの名称をご記入ください)	
参加するクラス ※該当学年に○をつけてください。 幼児は() 内のいずれか	2月8日(土)	5年(1チームのみ)、6年(1チームのみ)、 ママ(1チームのみ)、パパ(1チームのみ)
	2月9日(日)	幼児(1チームまたは2チーム)、1年(1チームのみ) 2年(1チームのみ)、3年(1チームのみ)、4年(1チームのみ)
連絡先	氏名	
	郵便番号	
	住所	
	電話番号	【自宅】 【携帯】
加入している 保険名	※保険証書のコピー(保険名・団体名がわかる部分)を同封してください。	

役員協力用紙

★下記①・②のいずれかに必ず ○ をつけてください。

① 2月8日(土)	7:30～終了まで 大会運営(受付、記録、会場 等)及び翌日の準備
② 2月9日(日)	8:00～終了まで 大会運営(受付、記録、会場 等)及び後かたづけ
役員氏名	(男・女)
連絡先(Tel)	

※ 室内シューズの用意をお願いいたします。

※ 1日を通してのお手伝いとなりますので、チームには帯同できません。

千葉市長旗争奪ミニサッカー大会競技規則

1 ピッチ

- 縦 25m～36m 横 15m～20m ペナルティマーク 5m ペナルティエリア 3m (ただし、状況に応じて変更する。)

2 ボール

- ボールはフットサル4号球を使用する。(軽量)

3 競技者の数

- 競技者は5人とし、内1人はゴールキーパー(以下説明文中は「キーパー」という。)である。
- 交代は何回でも可能。また、一度交代で退いた競技者は交代要員となり、他の競技者と交代してピッチに戻ることができる。
- 選手は交代ゾーンから交代する。必ず交代する選手がピッチを出てから入ること。審判に告げる必要はない。

4 競技時間

- 8分のみとする。(ランニングタイム)

5 得点

- ゴールイン
 - ① ペナルティエリア内のシュート等による得点は認める。
 - ② コーナーキックから、直接得点することができる。
 - ③ キックイン、間接FK、キーパースローがキーパーに触れて入った場合は得点と認める。
- ノーゴール
キックオフ、キックイン、間接FK、キーパースローが直接ゴールに入った場合は、相手側のキーパースローで再開する。

6 ゴールキーパー

- キーパーはペナルティエリアを出て、フィールドプレーヤーとしてプレーしてよい。
- キーパーは手でつかんだボールを蹴ってはいけない。(ドロップキックを含む) 蹴った場合は相手側に間接FKを与える。
- キーパースローは相手ピッチにノーバウンドでボールを投げ入れることはできない。ただし、アドバンテージは認める。ノーバウンドで越えた場合は相手側にハーフウェーラインの任意の地点からの間接FKを与える。
- キーパーは4秒以上ボールを保持してはいけない。違反があった場合は相手側に間接FKを与える。

7 フリーキック

- ボールを保持またはプレー中のプレーヤーにスライディングタックルをすることはできない。違反をした場合には相手側に直接FKを与える。
- キーパーが、味方競技者により意図的にキーパーにキックされたボールに手で触れた場合は、相手側に間接FKを与える。

8 キックイン

- ボールがタッチラインを越えた場合は、最後にボールに触れた競技者の相手側のキックインで再開する。
- キックインは走り込んで行ってもよいが、正しく行うよう指導する。(正しく行われなかった場合は、相手側のキックインで再開する。)

9 ゴールクリアランス (キーパースロー)

- 攻撃側が最後にボールに触れてゴールラインを越えた場合は、すべてゴールクリアランス (キーパースロー) となる。

10 その他

- コーナーキック、フリーキック、キックインの時、相手側競技者はボールから3メートル以上離れる。
- 予選リーグにおいて勝ち点で並んだ場合、決勝トーナメントへの勝ち上がり方の優先順位は、①得失点差、②総得点、③直接対決の結果、④抽選とする。
- 決勝トーナメントにおいて同点の場合、1人目からのVゴール方式によるPK戦とする。
- 試合開始に遅れたチームは不戦敗とし、失点5とする。
- その他についてはFUTSAL競技規則に準ずる。ただし、ファールは累積されない。キーパーへのパスの制限はない。

○ ママさんの部では、ネックレス・イヤリング等の装飾品は身につけないこと。また爪についても安全を確認する。

【 幼 児 の 部 】 (上記の競技規則のうち、次の点を変更する。)

- ボールは幼児用ソフトサッカーボールとする。

【 パパさんの部 】

- FUTSAL競技規則に準ずる。